

令和4年12月7日

市政記者各位

日本視覚障がい情報普及支援協会 市長表敬のお知らせ

福岡市では、視覚障がいのある方の情報アクセシビリティの向上のため、令和4年8月から携帯電話事業者4社と連携して音声コードUni-Voice Blind（ユニボイス ブラインド）アプリの利用を無料で支援するなど、音声コードの普及促進に取り組んでいます。

これらの市の取り組みを受け、この度、Uni-Voiceの開発者である日本視覚障がい情報普及支援協会（JAVIS）が、全国初の取り組みを福岡市で開始します。

◆JAVISの取り組み◆

- ①Uni-Voice Blindアプリ内で福岡市ホームページ情報の読み上げ開始
- ②福岡市内の民間事業者へ音声コード作成ソフトを無償提供

そこで、JAVISが取り組み報告のために福岡市長を表敬訪問されますので、ぜひ取材くださいようお願いいたします。

- (1) 日時 令和4年 12月 12日（月） 15：45～16：00
- (2) 場所 福岡市役所9階 特別応接室
- (3) 来訪者 特定非営利活動法人 日本視覚障がい情報普及支援協会（JAVIS）
理事長 の と や かずのり 能登谷 和則 様
- (4) 対応者 福岡市長 高島 宗一郎

※市長退席後に、JAVISと所管課が質問をお受けします。（16：00～16：30）
また、福岡市ホームページ情報の読み上げについて、実演を交えて説明します。

～音声コードUni-Voice（ユニボイス）とは～



Uni-Voice Blind

印刷物の文字情報を二次元コードに変換したもの。
専用のアプリをインストールしたスマートフォン等を音声コードにかざすと、文字の情報が音声で流れるため、視覚障がいのある方や、小さな文字が見えにくくなった高齢者などが、情報を得ることができます。

